

令和4年度白馬村地域交通に関する現状分析及び提言業務の概要について

令和4年11月
総務課

◆業務の目的

- (1) 白馬村地域公共交通網形成計画（以下「網計画」という。）にある基本方針と施策を推進すること
- (2) 現況の地域交通の分析を行うとともに、これからの地域交通の方向性を検討すること

◆業務の内容

- (1) 行政が運行主体となっている現況交通体系の分析
 - ① HAKUBAシャトル（ナイトシャトルバス）事業（観光課）
 - ② スクールバス実証事業（教育課）
 - ③ デマンド型乗合タクシー（白馬ふれ愛号）事業（健康福祉課）
- (2) 網計画の進捗状況の整理
 - ・ 計画の基本方針に基づく、重点的に取り組む施策の進捗状況の整理
- (3) 今後の交通体系の全体最適化に向けた調査及び提案
 - ① MaaS等の新たな交通体系を整備するための調査
 - ② 地域交通体系の全体最適化（案）の策定

◆主な成果品

- (1) 行政運行主体の交通体系の分析結果 一式
- (2) 地域交通体系の全体最適化（案）一式
- (3) その他関連する資料

◆業務委託者

- ・ 一般社団法人長野ITコラボレーションプラットフォーム 代表理事 荒井 雄彦
（長野市鶴賀権堂町2312-1）

◆委託期間

- ・ 令和4年10月31日 ～ 令和5年3月31日

◆スケジュール（予定）

11月～	・スクールバス（夏）、デマンドタクシー（上半期）実績データの分析開始 ・地域基本データ（人口動態、人流データなど）の把握、分析開始
12月～	・観光デマンド交通、スクールバス（冬）、デマンドタクシー（下半期）のデータの把握、分析 ・地域交通の全体最適シミュレーションの検討、まとめ
3月～	・成果報告